



岡崎市内で活躍する福祉な人＝みんなのしあわせを考え環境を整えようと楽しく活動している人をあいちゃんが突撃インタビューしてご紹介します

## 突撃あいちゃん 福祉なひと vol.1 中澤 恵さん

### 中澤さんの今を表すワード

【NPO法人四ツ葉の会統括事業所長】 【FMおかざき「ふくし・ふれあい・ふるこーす」ラジオパーソナリティー】  
【マラソンLOVE】 【キャラ弁】 【友愛の家定期講座「たのしい手話」受講中】

——福祉のお仕事を選んだきっかけは何ですか？

高校生の頃ボランティア部の親友に付き添って養護学校へ行ったとき、中学校で交流した子がいてその子が自分のことを覚えていたことがとっても嬉しかった。その後もボランティアに参加し交流を続けた。大学進学時、大好きな絵の道か福祉の道かを迷ったが日本福祉大学へ進学し、その後は福祉の道へまっしぐら！（同じ志をずっと持ち続けるって素晴らしいことです by あいちゃん）

——福祉に携わって今思うことを教えてください

約20年前障がいの子を持つ家族と共に小規模作業所を起ち上げた。そこからたくさんのステップを経て今がある。これからもつながった知り合いのネットワークを大切に協力しながら情報のアンテナを張って仕事に活かしていきたい。あと、働く側のことで介護員、支援員を増やし人を定着するための活動を続けたい。もし福祉事業所を起ち上げたいとか、仲間を探してしているなどあれば力になります。（心強いお言葉です by あいちゃん）

——中澤さんのパワーの源は？

愛する家族とマラソン。走るとリフレッシュできるし、いいアイデアも浮かんでくる。通勤ランしてますよ！（おー！元気いっぱい！ by あいちゃん）



中澤さんにお会いするといつも変わらない雰囲気、優しい笑顔優しい声にホッとします。生活介護のお部屋を見学させていただいたとき中澤さんを見つけて満面の笑みで近づいてきた利用者さんがいました。きっと中澤さんに会うだけで癒しの風に包まれ居心地の良さを感じているんだなあ、いいなあと思いました。

## ヘアドネーション (hair donation)

みなさん、ヘアドネーションご存知ですか？

ヘアドネーションとは、「病気などによって髪を失った人が使用する医療用のかつらの材料として切った髪を寄付すること」です。切った髪が誰かの役に立てるなんてステキなことですね。

かつらにできる条件はいろいろあるようです。例えば31センチ以上の長さがある（31センチ以下でも無駄にはならない）、パーマや毛染めをしていても大丈夫、完全に乾いた髪など...

寄付する方法は2つあります。



- ①自分で直接送る
- ②ドネーションサロン（髪の毛を寄付するヘアドナーをサポートする理美容室）でカットする

岡崎でも5件ほどドネーションサロンがあります。ロングヘアーからバツサリ切ってショートカットにする予定のかたがいたらぜひいかがですか？

